

## 令和4年度 園評価

### I 経営の重点に関わること

評価段階

A：大変よくできた B：概ねよくできた C：あまりできていない D：できていない

教育・保育目標：やさしい心 元気なからだ 認め合う いろいろなことにチャレンジ 最後までがんばる

重点目標： 思いを自分なりに表現する

評価指標		自己評価
子どもの思いを読み取ろうと様々な方法で努めている	日常の言動を基に保育内容を考え、明日の保育に繋がるよう子どもが1日の振り返りを行う中で今のようなことに興味があるのかを確認した。やりたい思いを大切に受け止めるよう心掛けたが予測が足りない場面も多かった。保護者へ子どもの姿を伝えたいと感じたことは写真をつけたクラスだよりを配信し伝えた。	B
「保育者の援助」について考え、子どもが自由に表現できるよう努めている	子どもの発想や想いを大切に個々に寄り添い、自由に表現している子どもの姿を見守った。保育者主導にならないよう気をつけたが、必要以上に援助をしたり保育者の考えを伝える言葉がけをする場面があった。担任間では子どもの様子を共有するよう努めた。	B
<p>改善策（来年度の具体的な取組等）</p> <p>まだ安心して十分に思いを表せていない子もいると感じている。どのような経験をするのが子どもにとって安心して思いを表現したいと思えるのか、自信となるのか、子どもの育ちを支えていくよう子どもの姿から思いをもっと深く読み取るよう努める。日々の保育の中で子どもの思いの読み取りは保育者により内容が異なるが担任間だけでなく、園内研修等でクラス以外の保育者とお互いの考えを伝え合う機会を多く作る。幼児、乳児、全体の3回行った公開保育を5年度は学年ごとの公開保育を実施し、多くの保育者が互いに保育を見る機会を増やす。子どもが夢中になり楽しめる環境とはどのようなものかを話し合い、配置、使用する玩具について検討し設定する。「保育者の援助」「ていねいな関わり」についてチェックリストを使用し個々の保育について振り返りを行う。</p>		

### II 施設の機能に関わること

#### 大項目：1 こども園における教育及び保育

##### 中項目：(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育

評価指標		自己評価
子どもの発達や興味関心に合わせた活動及び遊びが展開されるよう工夫している	子どもの興味や関心を探り、活動内容を考えていったが、もっと遊びが発展していく環境について考え、子どもが関心ある遊びに合わせ環境を変えていかなければいけなかった。	B
<p>改善策（来年度の具体的な取組等）</p> <p>興味関心の読み取りが足りないことが多かった。興味がどのような方向に向かうのかを考えながら環境設定し保育者は適切な関わりができたか、子どもが落ち着き集中して活動できるよう時間や空間を作り園内研修、公開保育の中で考える機会を作る。また玩具や素材、環境設定についての研究があまりできなかったため継続し行う。</p>		

##### 中項目：(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮

一人一人の育ちや生活リズムを考慮し、その子の気持ちに寄り添った援助を行うように努めている	一人ひとり家庭環境が違うことを理解し、その子にあったリズムで過ごせるよう努めた。ケース検討会を行い子どもの行動や内面について共通理解を図り、意見を出し合い対応について考え、その子が過ごしやすい環境を整えるよう努めた。	B
<p>改善策（来年度の具体的な取組等）</p> <p>今後も各自が子どもの置かれている状況を把握し、園での生活を安心して送れるよう一人ひとりの寄り添ったかかわりを心掛ける。ケース検討会での内容が全職員に周知できないこともあったため報告を丁寧に行う。</p>		

##### 中項目：(3)環境を通して行う教育及び保育

「居場所感・安心感」と「夢中・没頭・遊びこむ」ことを保障している	気持ちに寄り添い安心して過ごせる関わりを大切にしたい。遊びが発展することには配慮が足りないことがあったが、日々遊びを少しずつ変えていくことで夢中になり遊ぶことができる場面もあり、園庭で製作や絵を描ける場所を作り夢中になって行う姿が見られた。室内の環境はあまり整えられず、落ち着く環境を作れなかった。	B
----------------------------------	---	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 子どもの思いを予測し、没頭して遊ぶ環境を作りことに努める。園庭の遊具等の配置は子どもの遊ぶ姿から移動し、変更後も必要があればすぐに対応するように保育者間で意見を交換するようにする。園庭の製作コーナーについてはもっと使いやすく充実させる。

**大項目：2 安全管理・指導**

**中項目：事故防止・防災**

ヒヤリハットの共有や安全点検を通し、子ども達が安全に園生活を送ることができるよう配慮している	クラスでの報告、連絡、相談することを徹底し、未然に事故を防げることも多くなった。ヒヤリハットの書式を変更し、月ごとに園庭や保育室の図に記入し具体的に危険な場所、怪我に繋がりがやすい行動かが分かるようにし、環境を見直すことができたが全体での周知に繋がらなかった。 防災、防犯訓練は年度当初は緊張感があり子どもたちも真剣に行っていたが年度後半はふざけることも増えた。	B
--	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 クラス担任間では危険な行動について内容が共有されたが園全体で周知できるよう方法を検討したい。  
 防災、防犯訓練は緊張感を持ち参加できるよう方法を考え、職員間でも反省を書類だけでなく会議内で共有する機会を作る。

**大項目：3 保健管理・指導**

**中項目：健康教育の充実**

基本的な生活習慣が身につく、健康な生活を送ることができるよう配慮している	基本的な生活習慣が身につくよう丁寧に関わるよう努め、保護者と連携を取り進めた。 食べる大切さについて食育活動を通し伝えた。	B
--------------------------------------	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 年齢に応じた基本的な生活習慣が身につくよう個々の状況に合わせ進めることを継続して行う。今後も保護者と連携を取り進めていく。

**大項目：4 特別支援教育・保育**

**中項目：支援体制づくりの推進**

支援体制を整え、家庭や専門機関と連携して、一人一人の発達や特性に合わせた教育・保育に努めている	気になる子に対し家庭や専門機関、園で連携をとりながらその子に合わせた対応に努め、園での様子は面談や送迎時に伝えた。	B
---	---	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 一人ひとりの特性について把握し共通理解に努める。担任だけでなく子どもに関わる全ての保育者で子どもの状況を把握できるようにする。

**大項目：5 組織運営**

**中項目：組織体制の充実**

各自が役割に責任を持ち、連携をとりながら働きやすい環境を整備している	係の業務に責任を持ち取り組んだ。他の業務と重なり追われることも多く各自が抱えている業務の内容、量を把握することが難しかった。	B
------------------------------------	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 園全体を見ながら、全員が協力する姿勢を持てるようコミュニケーションを図るようにしていきたい。各自の役割内容がはっきりしない部分があるため整備し、内容についても他の職員に分かる仕組みを作り職員間で協力する体制を整える。

**大項目：6 研修**

**中項目：研修体制の充実**

個人で教材研究や研究保育を行い、保育改善に努めている 外部、園内研修で学び合いながら保育の質や専門性の向上に努めている	園内研修や公開保育、ケース検討会などを通し他の保育者の考えや保育の内容を知ることができた。個々では資格の取得、Web 研修受講など自己研鑽に努めた。	B
--	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 保育内容の向上につながるよう継続的に園内研修を行う。  
 自己研鑽に努め、全職員でスキルアップできるようにしていく。

**大項目：7 教育・保育環境 整備**  
**中項目：教育・保育環境の充実**

子どもができた喜びを実感し、試行錯誤したり繰り返し挑戦する姿がある 季節の遊びや発達に応じた遊びが出来る環境が用意されている	その子なりの喜びや試行錯誤にすることに寄り添い、想いに共感しながら援助することができた。考え試すことのできる環境づくりを意識できたが、環境を整えられなかったり使用する用具の用意、年齢に合った玩具を十分に用意することができなかった。事前準備の大切さを実感した。季節に合わせた遊びはそのときにしか出来ないことを行うことができた。	B
---	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 子どもの興味や関心に合わせた用具、素材を十分に用意するなど環境を整える。その時期にしかできないことを体験し楽しめるよう計画する。

**大項目：8 家庭との連携・協力**  
**中項目：家庭への支援機能の充実**

保護者との信頼関係を築き、相互理解のもと子どもの育ちを支えるよう努めている お便りや掲示などで園から情報を発信し、子どもの成長の喜びを共有できるよう努めている	保護者とは送迎時に園のできごとを伝え成長を共に喜び、また保護者の悩みを聞き信頼関係を築くよう努めた。クラスだよりはもっと園での様子をわかりやすく伝える努力が必要だと感じた。	B
--	--	---

改善策（来年度の具体的な取組等）  
 今後も子どもの成長や遊びの様子、楽しんでいる姿など伝えられるよう掲示物やおたよりを増やし、ホームページを活用し園での見学の機会を作り園での様子を発信する。クラスだよりは他のクラスのおたよりと比べ伝わりやすい内容になるよう努める。家庭と協力し子どもの育ちを支えるよう努める。